

12月1日(月)

《 回覧内容 》

- 1 いさとスポーツクラブ
- 2 四郷八柱神社
- 3 切磋琢磨
- 4 井郷 地域会議だより
- 5 火災防止のため
- 6 防犯あいち
- 7 △危険なスマホ利用
- 8 青推協だより
- 9 今月の青木幼稚園

回覧内容は下記のQRコードをスマートホンで読み取り天道自治区ホームページ 関連リンクから、各団体ホームページの閲覧ができますのでご活用ください。



または、

まちクル天道自治区

検 索



天道自治区ホームページ



NPO法人

いさとスポーツクラブ

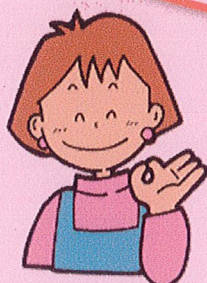
回覧

教室参加!

トク トク

得々

キャンペーン♪



入会金 (¥1,500 ⇒ ¥500)

年会費 (¥1,000 ⇒ ¥0)

新しいことに挑戦してみませんか?
ぜひこの機会にトライ!

期 間： 令和7年12月～令和8年3月

対 象： 上記期間内に、今年度初めて
教室に参加申し込みをされる方

体験（有料）も行っています。

問い合わせ



いさとスポーツクラブ (0565) 44-0050

(9:30-20:30 月曜休み)

いさとスポーツクラブ
ホームページ

四郷八柱神社

～年末・年始のお知らせ～

～納め箱の設置～ 12月27日(土)～1月10日(土)

お札、しめ縄、お守り等は(針金、金具などの燃えないものを取って出す)なお、ビニール、紙袋等はお持ち帰り下さい。人形、置物、ぬいぐるみ等は出さないで下さい

大晦日、元旦・2日・3日 ～初詣～

- ・ 迎え火…大晦日 午後11時～
- ・ 棒初め(四郷棒の手保存会)
元旦 午前9時～
- ・ お札(伊勢神宮・八柱神社)、おみくじ、茅の輪のお守りの販売をします。

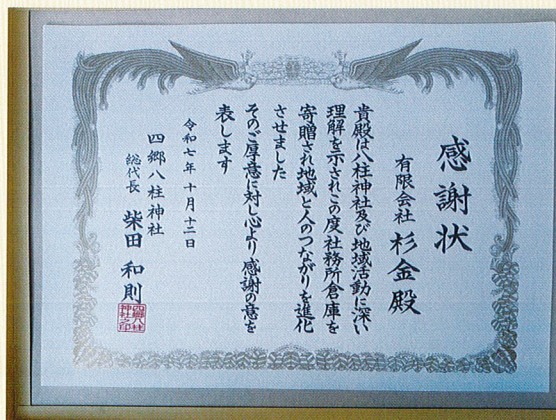


社務所開所

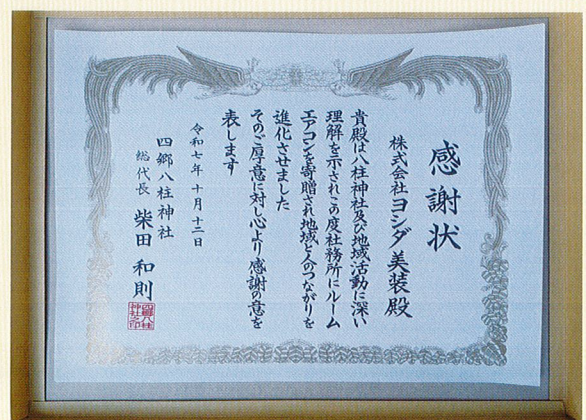
- ・ 大晦日 深夜～元旦 午後4時
- ・ 2日、3日 午前9時～午後4時

～左義長～ 1月15日(木) 午前9時30分より

- ・ お札、しめ縄、お守り等のお焚ぎあげ神事



有限会社 杉金様



株式会社 ヨシダ美装様

八柱神社より
感謝状贈呈



切磋琢磨

豊田市立井郷中学校
令和7年11月10日

いきいきと学び さわやかに ともにのびゆく われら井郷中生

学年や学級で団結・協力し創り上げた学年合唱『合唱祭』

10月24日（金）午前、本校体育館で「合唱祭」を実施しました。全校合唱「おおシャンゼリゼ」の後、1年生「旅立ちの時～Asian Dream Song～」 「MIDORI～繋がる輪～」の学年合唱、2年生の選抜合唱「YELL」と学年合唱「栄光の架橋」、続いて3年生学年合唱「僕のこと」「愛をこめて花束を」の合唱を披露しました。

一人一人が声も心もひとつにしようとする姿、力強さと美しいハーモニーの両面を感じる合唱が大変心に残りました。



生徒会主催による特技の有志発表『いさフェス』開催

10月24日（金）午後、本校体育館で生徒会主催の特技の有志発表「いさフェス」を実施しました。

クオリティの高い三味線やピアノ、ギター演奏、吹奏楽部や和太鼓部の演奏、マジックやダンス、歌の披露等、様々な特技をもつ中学生の才能に大変驚かされました。

運動部によるゲーム、構成の工夫された動画、楽しいクイズなどもあり、全校生徒が一体となって楽しむ姿を見て、大変心が和まされ、楽しい時間があっという間に過ぎていきました。



中学生海外派遣アメリカ団・イギリス団生徒『海外派遣報告会』

10月31日（金）第1校時、3年生は体育館にて、1・2年生は教室にてオンラインで、アメリカ団とイギリス団の海外派遣生徒による報告会を開催しました。

アメリカ団の生徒は「日本との違いで気づいたアメリカの自由」について、ランチルームの様子などをたくさんの写真を使って大変わかりやすく発表しました。イギリス団の生徒は、イギリスの国旗を纏って登場し、現地でスポーツに関するアンケートをとり、イギリスの中学生の生活について、大変具体的な事実をもとに、説得力のある発表をしました。



井 郷

いさと

地域会議だより

第 66 号
2025
令和 7 年

12 月

地域会議の協議状況

今年度の地域会議では、地域課題解決事業の検証と新たな提言に向けて地域の課題等について協議をすすめています。

地域課題解決事業の検証は、過去に実施した「まちづくり基本計画・実施計画」について、地域会議の評価と残課題の有無について協議を行いました。来年度が最終年度となっている井郷まちづくりプランの今後の方向性について決定していく予定です。



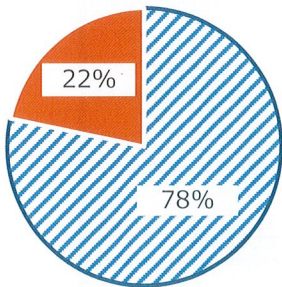
地域課題 解決事業

安全で安心して歩けるまちづくり事業

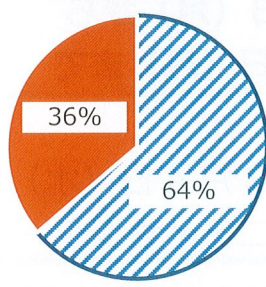
安全で安心して歩けるまちづくり事業では、井郷地域全世帯を対象に、ゾーン 30 エリアの認知度やゾーン 30 エリア内で実施している対策内容の認知度、井郷地域内の危険箇所等について、アンケート調査を実施しました。

【実施期間】 令和 6 年 11 月 28 日～令和 6 年 12 月 23 日

井上・天道自治区エリア



井上自治区南エリア



知っていた ■ 知らなかった

【ゾーン 30 エリアの認知】

ゾーン 30 エリアの認知度は、両地域とも 60%以上の方が認知していました。特に、井上・天道自治区エリアは 80%近い認知度でした。



0% 20% 40% 60% 80% 100%

知っていた ■ 知らなかった

【ゾーン 30 エリア内実施対策の認知】

ほとんどの対策で半数以上の方が認知していました。特に、「速度抑制の標識」や「入口部のカラー舗装 (赤色)」は 80%以上と高い一方で、「ぴかっとわたるくん」は約 40%と最も低い結果でした。

【井郷地区の危険箇所】

アンケート調査や交通事故統計情報から井郷地区の危険箇所を算出しました。その結果、危険箇所が5地点算出され、下古屋自治区内や井上自治区内に位置します。特に井上自治区内では、危険箇所が4地点あります。該当箇所を各自治区へ説明し、交通安全対策を進めています。



※ 令和8年度は、井郷地区のこども園等で交通安全講演会を開催する予定です。

令和8年度わくわく事業を募集します！

わくわく事業は、地域資源（人材・文化・自然など）を活用して、「地域課題の解決」や「地域の活性化」に取り組んでいる団体の事業を支援する制度です。

「自分たちのまち」を「自分たちの手」で「もっと住みよく魅力あるまち」にするために活動を始めてみませんか。

募集期間	令和7年12月15日（月）から 令和8年1月19日（月）まで
審査会	方法：ヒアリング 開催日：令和8年3月4日（水）※予定 場所：猿投コミュニティセンター 大会議室
補助金限度額	原則100万円（団体あたり）※特例規定あり
補助率	原則9割以下 ※特例で10割まで
募集要項	猿投支所・井郷交流館にて配布
申請書類	上記2か所で配布するほか、豊田市HPにも掲載

問合せ先 井郷地域会議事務局

豊田市役所 地域活躍部 猿投支所 地域振興担当 〒470-0373 豊田市四郷町東畑 70-1
電話 0565-45-1214 FAX 45-4824 電子メール sanage-shisho@city.toyota.aichi.jp



リチウムイオン電池、リチウムイオン電池使用製品及び電池の廃棄時のお願い

世界中でリチウムイオン電池とその使用製品の廃棄時の火災が頻繁に発生しています。豊田市では、火災防止のために電池等は「有害ごみ」で分別していただいているところですが、更なる火災防止の徹底のために**以下の3点をお願いします。**

1 電気ショートによる発火を防ぐため電極部をテープ等で絶縁処理してください。

絶縁の例→



2 膨張・変形したものは発煙・発火の危険性が高いため、リサイクルステーションの職員に手渡ししてください。

3 取り外しが簡単にできない（電池交換式ではない）電池を無理に取り外そうとすると発煙・発火の危険性があるため、分解せずそのまま出してください。

リチウムイオン電池・電池使用製品の判別方法



リチウムイオン電池本体には、リサイクルマークが表示されています。



電池使用製品には表示がなくても、「充電できる製品」や「電源につながなくても動く・光るなどする製品」には、リチウムイオン電池が使用されている可能性があります。

リチウムイオン電池が使用されている製品の具体例



出典：環境省ウェブサイト (https://www.env.go.jp/recycle/waste/lithium_1/index_00002.html)、PDL1.0 (https://www.digital.go.jp/resources/open_data/public_data_license_v1.0)「チラシデータ」(環境省) (<https://www.env.go.jp/content/900532351.pdf>) を編集・加工して使用

※できるだけ電池切れの状態でお出しください。

膨張・変形したものは、危険ですので電池切れにする必要はありません。

表面のお願いに加えて、

引き続き分別の徹底をお願いします。

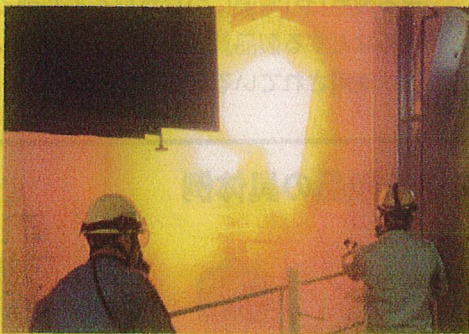
リチウムイオン電池使用製品は「有害ごみ」で収集しています！

- ・**資源の日（月に1回収集）**又は**リサイクルステーション**の、「**電池・バッテリー・充電式小型家電**」のかごに出してください。
- ・ただし、一辺が 30 c mを超えるもの、電池が取り外せるものは「**金属ごみ**」です。（取り外した電池は「**有害ごみ**」）

ごみ処理施設や作業員の安全のため

モバイルバッテリーやリチウムイオン電池使用製品は
「燃やすごみ」や「プラスチック製容器包装」の袋には
絶対に入れないでください！

ごみの処理ができなくなります！



【渡刈クリーンセンターの火災の様子】



※モバイルバッテリーや充電式小型家電に含まれるリチウムイオン電池は、過度な力が加わると、発熱、発火します。
ごみ収集車やごみ処理施設では、ごみを効率よく処理するため圧縮、破碎をしており、混入したリチウムイオン電池により発火しています。

【問合せ先】豊田市 循環型社会推進課 電話：0565-71-3001

令和7年11月作成

防犯あいち

発行所：(公社)愛知県防犯協会連合会
 名古屋市昭和区円上町26番15号
 (愛知県高辻センター 2階) <052>871-2110



回覧



防犯あいちシンボルマーク

～年の瀬の安全をめざして～

年末の安全なまちづくり県民運動

運動の重点

- 特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害防止
- 侵入盗の被害防止
- 自動車盗の被害防止

いよいよ令和7年も年末です。

本年も日本中で、そして世界中でいろいろな事件や事故、災害が発生しました。

愛知県内では、刑法犯認知件数が戦後最少を記録した令和3年以降、増加傾向にあり厳しい情勢が続いています。

こうした中、安全で住みよい地域社会を実現するため、

愛知県、愛知県警察、愛知県防犯協会連合会は、

12月11日(木)から12月20日(土)までの10日間

犯罪にあわない・犯罪を起こさせない・犯罪を見逃さない(3N(ない))
 をスローガンに

「年末の安全なまちづくり県民運動」を実施します。

県民の皆さんが希望している「明るく輝かしい新年」を迎えるためにも、改めて一人一人が「防犯」というものに目を向け、関心を持っていただき、それぞれの立場で防犯行動・安全行動に努めましょう!



パトロール隊の紹介

南区道德町地内の道德公園内をパトロールする南区防犯協会の皆さんです。

9月25日、明治記念館において防犯功労者(団体)等表彰式が開催されました!

【敬称略】

☆防犯栄誉金章5名(警察庁長官・公益財団法人全国防犯協会連合会長連名表彰)

瀧川 正喜(新城) 川合 志遂(豊田・みよし) 藪下 順子(足助) 小原 睦(岡崎額田) 中込 清周(名東)

☆防犯功労団体 1団体(警察庁長官・公益財団法人全国防犯協会連合会長連名表彰)

旭丘連合自治会(守山旭)

☆功労ボランティア団体 1団体(公益財団法人全国防犯協会連合会長表彰)

瑞穂区郵便局防犯協会(瑞穂)

☆公募青パト活動写真 最優秀賞 1名(公益財団法人全国防犯協会連合会長表彰)

山田 昭二(稲沢 千代田防犯パトロール隊)



「2025年度 安全なまちづくり愛知県民大会」開催

10月16日(木)にNiterrra日本特殊陶業市民会館フォレストホールにおいて「2025年度安全なまちづくり愛知県民大会」が開催され、永年、防犯活動や暴力追放運動に尽力された方々への表彰の伝達や披露が行われました。

大会の第一部では表彰式等の後、テレビ愛知アナウンサーの上釜美憂さんによる大会宣言に続いて参加者全員で「犯罪をなくそう」「暴力を追放しよう」と唱和して大会を大いに盛り上げました。

また、第二部では愛知県警察音楽隊による演奏と防犯広報が行われ、参加者の防犯意識高揚が図られました。

令和7年9月末の犯罪発生状況について

本年9月末の県内における刑法犯総数は42,220件(+11.9%)と、これから年末を迎えるに当たり非常に心配される状況で、特に侵入盗や自動車盗、特殊詐欺は、被害認知件数がいずれも昨年に比べて3割以上の増加となっており、これらは県民の生活に身近な罪種であることから極めて厳しい情勢と言えます。

「自分の身のまわりでどんな被害が発生しているのか、その被害に遭わないようにするには、どのような対策をとる必要があるのか」を今一度考えていただき、それぞれの家庭、地域に応じた防犯対策を講じて平穏な年末年始を迎えましょう!

	刑法犯総数	侵入盗	住宅対象侵入盗	事務所荒し	出店荒し	自動車盗	
認知件数(件)	42,220	2,727	1,038	198	477	886	
増減(件)	+4,484	+696	+91	+46	+187	+219	
増減比	+11.9%	+34.3%	+9.6%	+30.3%	+64.5%	+32.8%	
	自転車盗	万引き	特殊詐欺			SNS型投資・ロマンス詐欺	
認知件数(件)	9,642	5,369	認知件数(件)	1,429	被害額 約60億0,771万円	認知件数(件)	979
増減(件)	+526	+580	増減(件)	+335	増減 約29億8,459万円	被害額	約107億2,410万円
増減比	+5.8%	+12.1%	増減比	+30.6%	増減比 +98.7%	1件当たりの被害額	約1,095万円

※増減数・増減比は昨年同期比 ※住宅対象侵入盗は空き巣、忍込み、居空きの合計
※被害額は、キャッシュカード手渡し型被害による事後引き出し額を含む。千円以下は切り捨て

寄附金等の贈呈



9月10日、愛知県自転車防犯登録協会(高野守夫理事長:写真右側)様から、「安全・安心の地域社会実現」のための活動資金として、寄附金の贈呈を受けました。

防犯替え歌

サロンなど地域での集まりの際に歌ってください!

童謡 さっちゃんのもロロディで...

三 二 一

詐欺師はね 詐欺師はね 特殊詐欺
外国からも電話する いろんな手口でダマします 投資にロマンス詐欺注意
だから国際電話 市役所職員 名乗ります 電話やメールが来るかもよ
着信拒否に 詐欺! 詐欺! 詐欺!

防犯四方山話

～ 地域の皆で子ども達の成長を見守りましょう ～

転勤でA交番に着任したB主任が、初めてのパトロールの際、中学校の校門前で集まっている数名の中学生を発見しました。B主任が声をかけたところ、その内の一人が仲間に「俺達は何もしていないからしゃべらんでいいぞ!」などと言って、最後まで反抗的な態度でした。B主任は、やむを得ず「今度A交番に来たから顔を覚えといてな!」と言ってその場を後にしました。後日、B主任が少年補導委員のCさん達と合同パトロールを実施したところ、再び同じ中学生に遭遇しました。B主任が「また反抗的な態度をとるかな?」と考えていたところ、Cさんが「暗くならんうちに帰りゃあよ!」と声を掛けると中学生達は「ほ~い!」と言ってすぐに解散し始めました。B主任が「今日は素直だなあ」と言うと、「知つとるおじさんだ」とニコニコ話しながら帰って行きました。それ以降、いろいろな場面で中学生達と顔を合わせることがありましたが、お互いが声を掛け合い、卒業式当日には公園で一緒に記念撮影をして卒業を祝いました。B主任が「今日、泊まり勤務で悪いことはせんように!」と冗談っぽく言うと、卒業生達は「おう!」と胸を張って返事してくれました。地域の大人達が子ども達の成長を見守ることの大切さを実感した一年でした。



警察庁長官・全国防犯協会連合会長連名表彰

☆防犯荣誉銀章 10名

小笠原定水(北) 樺山 紘一(熱田) 加藤 俊男(海部南部) 加藤 昭(東海大府) 大内 政春(足助)
寺島 久宣(中村) 伊藤 彰浩(津島) 梅田 裕司(半田) 村井 誠一(西尾) 葉山 圭一(豊橋)

中部管区警察局長・中部防犯協会連絡協議会長連名表彰(防犯功労表彰)

☆6団体・12名

本城中ブロック地域安全パトロール隊(南) 藤島団地区自主防犯会(小牧) 知多安全サポートレディース(知多)
瀬古防犯隊(守山旭) 西之森本田区防犯パトロール隊(海部南部) 八名青パト隊(新城)
氏原 栄(千種) 柳瀬 秀彦(中村) 山田 利一(稲沢) 森山 宏樹(知多) 天野 忠則(蒲郡)
原田 勝弘(東) 北條婦美子(昭和) 久野 祥子(東海大府) 萩野 鎮夫(豊田・みよし) 永田 強(豊橋)
小川新太郎(北) 森岡 宏至(名東)

全国防犯協会連合会長表彰

☆防犯荣誉銅章 30名

西川 広樹(千種) 鈴木 護(港) 落合 光江(小牧) 中村 孝(津島) 伊藤 孝光(岡崎額田)
保坂 光俊(東) 太田 和孝(名東) 河村 清志(西枇杷島) 飯田 數義(海部南部) 本田 道宣(北設楽)
岡島 守(北) 横地 道代(天白) 前田 弘秋(江南) 有川 高広(知多) 渡邊 晴美(豊川)
森川 吉雄(中村) 臼井 礼司(守山旭) 森岡万朱衣(犬山扶桑) 早川 清巳(刈谷) 近藤 昌泰(蒲郡)
橋本りょう子(昭和) 岡村 肇(瀬戸) 永田 光儀(一宮) 野村 三郎(安城知立) 鬼頭 滋可(田原)
平賀 武(熱田) 近藤 健治(春日井) 塚本 忠男(稲沢) 山岡 仁(西尾) 伊東 敏雄(県防連)

☆公募ポスター優秀賞

伊東 貴志(エヌビーエス株式会社)

☆公募青パト写真佳作

夫馬 文雄(一宮 千秋安全パトロール隊)

愛知県知事感謝状

☆防犯功労者 25名

渡辺 広志(千種) 伊奈田光春(南) 加藤 文弥(瀬戸) 小島 克成(半田) 鈴木 正晴(足助)
加藤 祐二(北) 小坂井玉緒(港) 伊藤 和芳(春日井) 栗林 三枝(東海大府) 近藤 昭(豊川)
今井 富雄(中) 野山 公昭(緑) 北村 浩(春日井) 富板 憲司(安城知立) 足立 静慧(蒲郡)
奈須加代子(昭和) 山崎 善光(名東) 猿渡 久人(西枇杷島) 岡田 庄璽(岡崎額田) 余郷 充代(豊橋)
久保美地子(中川) 田中 克明(守山旭) 永井 義康(江南) 篠田 貴正(豊田・みよし) 石川 晴夫(県防連)

☆安全なまちづくり活動功労団体・者(県防連関係分 4団体・15名)

常安学区防犯協会(緑) 長田広告株式会社(津島)
森本防犯パトロール隊(一宮) 豊橋市つつじが丘校区防犯協会(豊橋)
南川 勇夫(中) 高橋 智昭(名東) 田口 春司(守山旭) 渡邊 勝彦(一宮) 大見 幸子(安城知立)
麓 眞崎子(港) 光部 庄二(天白) 中務 功(瀬戸) 伊藤 基夫(稲沢) 金田 靖三(北設楽)
齊藤 明広(緑) 桑山 卓也(天白) 中村 将人(江南) 神谷 環光(碧南高浜) 小島 哲也(豊橋)

愛知県警察本部長・愛知県防犯協会連合会長連名感謝状

☆防犯功労者 49名

横地 三郎(千種) 船越 宣幸(熱田) 日比野平生(瀬戸) 加藤 幹夫(海部南部) 宮澤 清人(豊田・みよし)
鈴木 晶博(東) 大矢 英憲(中川) 加藤 暢孝(春日井) 高井 慶治(海部南部) 衣畑 有恭(足助)
大脇 幸男(北) 坂野 新治(南) 亀井 道代(小牧) 谷 有隆(知多) 加藤 一敏(北設楽)
広瀬 康隆(西) 山田 秀夫(港) 田中 幸子(小牧) 新美 健一(常滑) 瀧川 紀幸(新城)
古橋 利治(西) 加藤 公三(緑) 安藤 保信(西枇杷島) 早川 利光(刈谷) 今泉 秀哉(豊川)
内山 嘉一(中村) 伊藤 秋(名東) 安藤 邦彦(一宮) 岩井 茂親(碧南高浜) 渡辺 充敏(蒲郡)
山田 健蔵(中村) 田口 和宏(天白) 小川 朋保(一宮) 宮田 克弥(碧南高浜) 山口 進(豊橋)
林 左希也(中) 加納 保(天白) 山田 昭二(稲沢) 大屋 敏(安城知立) 渥美 昌彦(田原)
伊藤 由美(昭和) 梅本 孝也(守山旭) 井伊 巳利(津島) 加藤 恵子(西尾) 久綱 啓太(県防連)
深見 満広(瑞穂) 内藤 保枝(愛知) 吉田真由美(津島) 中島 清乃(岡崎額田)

各地区防犯協会の活動だより

稲 沢



稲沢防犯協会連合会では、夏の安全なまちづくり県民運動の初日、稲沢市長、同市議会副議長、警察署長等参加の下、管内の青色防犯パトロール隊(8団体30名)が集結して出発式を開催し、各隊員の士気高揚を図りました。

一 宮



一宮防犯協会連合会では、レクサス一宮店において来客者を対象に防犯講話を行うなど、自動車盗の被害防止には複数の対策の組み合わせが有効であることの啓発活動を実施しました。

犬山扶桑



犬山扶桑防犯協会では、犬山市更生保護女性会の協力を得て、名鉄犬山駅周辺において家族連れなどに対してSNS型投資・ロマンス詐欺等の被害防止に関する広報啓発活動を行いました。

田 原



田原防犯協会連合会では、中山小学校防犯少年団や青パト隊、市役所職員などと連携して警察署員との合同パトロールを実施したほか、「子ども110番の家」を訪問して日頃の感謝の気持ちを伝えました。

岡崎額田



岡崎額田防犯団体連絡協議会では、岡崎警察署及び警察本部教養課女性術科指導員の協力の下、協議会会員の女性従業員を対象に護身術等の防犯教室を実施して、防犯意識の高揚を図りました。

東



東区防犯連合会では、東警察署と連携して大曾根温泉湯の城において来場者を対象に「特殊詐欺被害防止アプリ」の広報とインストールを促して防犯意識の高揚を図りました。

令和7年度 地域安全運動ポスター・標語・青パト写真コンクール審査結果

快拳!
愛知県から多数入選!



青パト写真 最優秀賞 山田 昭二さん



ポスター 優秀賞 伊東 貴志さん



青パト写真 佳作 夫馬 文雄さん

許しません
詐欺 闇バイト
暴力団

暴力追放運動統一標語
佳作 安藤 均さん

ダメ！！

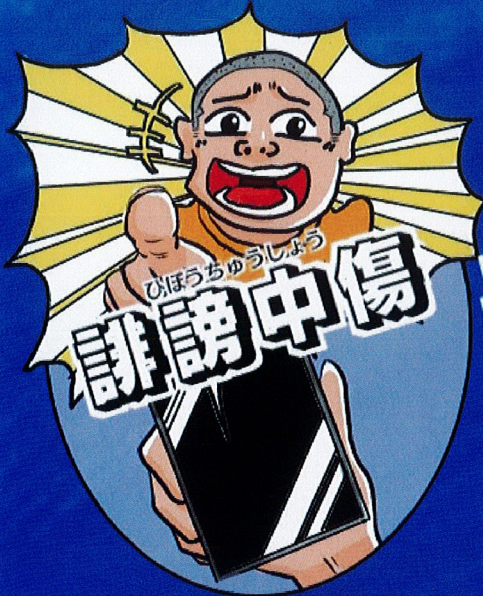
きげん



危険なスマホ利用

りよう

～家庭でのルール作りのスマホ～



ひぼうちゆうしやう
誹謗中傷



からだ
身体への
あくえいさやう
悪影響



しどろ
児童
ポルノ



あくしつ
悪質
とうごう
投稿



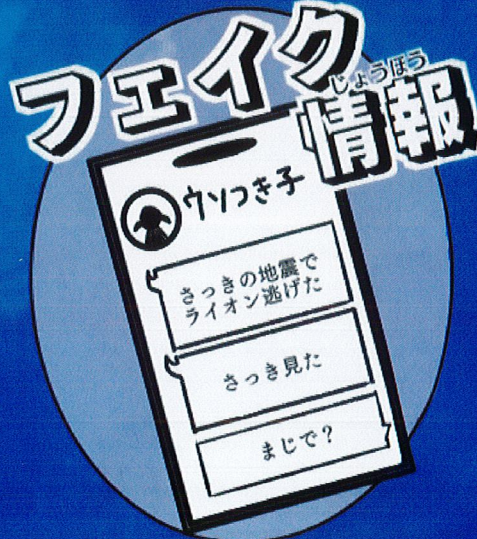
げーむ
ゲーム
いぞん
依存



やくぶつばいばい
薬物売買



なりすまし
なりすまし



ふえいく
フェイク
じやうほう
情報

じやうず
上手な
ルール運用
3ステップ！

うんよう

りめん
裏面へ

かくかてい

各家庭での

つく かた

スマホルール作り方

かんたん

簡単3ステップ



1 家庭で話し合いながらルールを決めよう

まも ないよう かてい はな あ
守りたい内容を家庭で話し合いましょう。

例)・SNS上の知り合いと会わない。

- ・アプリをダウンロードする時は保護者に相談してから行う。
- ・個人情報や行動を特定される写真をSNSに載せない。
- ・利用する時間を相談して決める。
- ・困ったときはすぐに相談する。



2 ルールに沿ったツールを活用しよう

必要に応じて、以下のような管理用ツールの利用も検討しましょう。

・スマホアプリ「コドマモ」

→露出の多い自撮り写真をAIが検知し、保護者に通知を送るアプリ。子どもの位置情報を随時送信し、誘拐等のリスクにも備えることが可能。



iPhone版



Android版

・iPhone機能「スクリーンタイム」／Android機能「ファミリーリンク」

→利用時間の上限設定や不適切なコンテンツのダウンロード・購入を阻止する機能あり。



スクリーンタイム



ファミリーリンク

・Wi-Fiルーターのフィルタリング・時間制限機能

→Wi-Fiルーターには、フィルタリング・時間制限機能が付いている場合が多い。不適切なWebサイトへのアクセス制限や、端末毎に使用できる時間帯や時間数を制限することが可能。

3 年齢や利用状況を見て定期的にルールを見直そう

インターネットを取り巻く環境は常に変化しているため、新たな手法の犯罪やトラブル等に巻き込まれないよう定期的にルールの見直しが必要です。

【問合せ先】豊田市役所こども・若者政策課

(電話番号) 0565-34-6630 (メールアドレス) kowaka@city.toyota.aichi.jp

青推協だより

No. 8 0

回 覧

発行日 令和7年11月
発行者 豊田市青少年健全育成推進協議会
豊田市西町3丁目60番地
豊田市こども・若者政策課内
Tel. (0565)34-6630

少年の主張愛知県大会

令和7年度少年の主張 愛知県大会が8月20日（水）に名古屋市中区役所ホールで開催され、豊田市からは2名が出場しました。

豊田市代表の竜神中学校のビンハナさんは1番目の発表でしたが、緊張することなく堂々としていて、7番目に発表した旭中学校の河合柚奈さんも、落ち着いた声で、聞きやすい発表でした。ビンさんは優秀賞の中の名古屋市教育委員会賞を受賞しました。二人とも豊田市の代表としてとても立派な発表をされました。



発表の様子
(上) 河合さん
(左) ビンさん

【これまでの経緯】

- ◆6月14日（土）豊田市民文化会館小ホールにて豊田市中学生の主張発表大会を開催
優秀賞5名を推薦
- ◆6月27日（金）西三河地区作文審査会にて愛知県大会代表を決定
- ◆8月20日（水）名古屋市中区役所ホールにて少年の主張 愛知県大会 開催
(発表者14名のうち豊田市から2名出場)
☆旭中学校 河合 柚奈さん 『私たちが未来のためにできること』 奨励賞
☆竜神中学校 ビン ハナさん 『言葉の壁を乗り越えて』 優秀賞・奨励賞
※賞の内訳：最優秀賞（1名）、優秀賞（4名）、共感賞（1名）、奨励賞（全員）

育成者研修会

青推協では毎年さまざまなテーマで育成者研修会を行っています。今年度は座学だけでなく、第1回の演劇指導の講師を招いた全員参加型のワークショップでは、年齢も地域もさまざまな人との関りを持つことができました。第2,3回の内容も、今現在の話題として興味深いことばかりで、講演終了後に多くの質問が講師に寄せられました。

- 第1回5月22日（木）午後7時～福祉センター
「コミュニケーションの準備体操」

兵藤 友彦 様（愛知県立刈谷東高校教諭）
鈴木 音梨絵 様（愛知県立豊野高校教諭）

- 第2回7月10日（木）午後7時～福祉センター
「地域学校共働本部ってなに？」

小岩 史卓 様（市役所学校教育課）

- 第3回8月21日（木）午後7時～福祉センター
「部活動はどう変わるか」

上山 仁 様（市役所学び体験推進課）



第1回
ワークショップの様子
二人で割り箸を持って
回ったり、チーム対抗
で並び替え競争したり
と交流を深めました。

各地区の青少年育成事業活動紹介

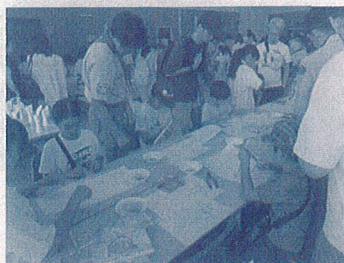


スマホ啓発チラシ

青推協では、各地区における青少年の育成事業を行っています。「話してつなごう 家族のわ」をスローガンに、青少年の健やかな成長とそれを支える地域社会づくりを促進します。

抜粋した3地区での取り組みの様子をご紹介します。

☆「キッズパーク」 「朝日丘フェスタ 2025」 朝日丘地区



7月13日(日)に、朝日丘交流館で自主グループや地域の方の協力によって、体験イベント「キッズパーク」を開催しました。朝日丘中学校から約50名の生徒がボランティアとして参加し、運営に協力してくれました。来場者は昨年度を超える約500名となり、とても賑わいのあるものになりました。子どもたちが太鼓、ダンス、空手の舞台発表をし、「わりばし鉄砲づくり」、「和紙ランプづくり」、「おりがみ」、「マジック教室」、「鉄道模型運転」、「輪投げ」、「スーパーボールすくい」などの体験ブースを回ったりしながら、スタンプラリーも楽しみました。

秋には、テーマ「人々のふれあい豊かな七つまち朝日丘」のもと、朝日丘交流館で「朝日丘フェスタ 2025」を開催します。10月29日(水)～11月1日(土)を「朝日丘フェスタ week」として展示発表のみを実施し、11月2日(日)には「朝日丘フェスタ 2025」を開催します。芸能発表や展示、体験イベント、販売コーナーの充実によって、昨年度以上の来場者のみなさんに楽しんでいただけたと思います。

☆「あそびま COOL」 下山地区

7月21日(月祝)、下山交流館で「あそびま COOL」を開催しました。さまざまな体験をして1日を「あそびまくる」イベントで、下山地区内の子どもたちが約100人参加しました。青少年部会・地域の子育て自主サークル・放課後児童クラブ・下山交流館の共催で、子どもたちが楽しめる内容やしくみを考案し、7つのブースを用意。青少年部会が担当した「じゃんけんゲーム」のほか、バルーンアート体験や、指の石膏型アート、小原和紙を使った風車づくり、ミニコンサート、子どもたちが自ら店主となって手作り作品の販売やゲームコーナーを運営する「こども商店街」と、盛りだくさん。参加した子どもたちはどのコーナーも夢中になって遊び、夏休みのよい思い出となる時間を過ごせたようでした。



☆「社会を明るくする運動」 高橋地区



6月28日(土)高橋交流館 多目的ホールにて「社会を明るくする運動」が約150名の参加者のもと盛大に開催されました。

当日は小学生4名、中学生1名による意見発表と高橋中学校吹奏楽部による演奏が行われ、発表者の皆さんは挨拶をはじめとするコミュニケーションの重要性について自らの体験を発表、多くの聴衆の心を打ちました。

また、高橋中学校の吹奏楽部が力強くも優しい音色で演奏を披露し、会場に温かな雰囲気をお届けしてくれました。

子どもたちの純粋な言葉と音楽が、犯罪のない「明るい社会」の実現に向けた希望の光となり、地域住民に深い感動と気づきを与えてくれました。